

様式1

教科用図書第3採択地区調査委員会

(理 科) 小委員会委員長

桜 庭 一 宏



調査研究・審議の経過	1 審議の対象となった発行者及び数 ・東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5者 2 調査研究の手順 ・第1回調査委員会（7月9日）で5者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第2回調査委員会（8月7日、8日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式1について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式2～6を作成した。 3 調査研究のための観点、項目 ・取扱内容については、各領域の目標達成に向けてどのような活動が取り上げられているかという視点で調査し、整理した。 ・内容構成、排列については、3年間を通じた各領域の系統性や発展性、各領域毎の内容の分量という視点で調査し、整理した。 ・使用上の配慮等については、学習意欲を高める工夫、主体的に学習に取り組める工夫が図られているかという視点で調査し、整理した。
全体を通じての特徴	1 東京書籍については、巻頭に探究の流れについて説明するページを設けたり、探究の流れを見通せるよう各節の探究の流れをフローチャートで示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされているという特色があり、優れている。 大日本図書については、学習の進め方や探究の進め方について説明するページ（第1学年）を設けたり、探究の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされているという特色があり、優れている。 学校図書については、単元での学習ごとに、科学的探究の例や考察の例を示したり、探究の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされているという特色があり、優れている。 教育出版については、探究の進め方について説明するページを参照できるようにしたり、探究の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされているという特色があり、優れている。 啓林館については、探究の進め方について説明するページを参照できるようにしたり、探究の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされているという特色があり、優れている。 2 このほか、東京書籍、大日本図書、学校図書、啓林館については、デジタル教科書で翻訳機能による多言語対応ができるなどの話題も出されていた。



理科の目標について
【教科の目標】 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
【学年・分野・領域等の目標など】 〔第1分野〕 物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3) 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。 〔第2分野〕 生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3) 生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。

【参考】

○ 目標の改善

目標については、育成を目指す資質・能力を三つの柱「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に沿って整理し改善を図っている。

また、従来、理科においては「科学的な見方や考え方」の育成を目標として位置付け、資質・能力を包括するものとして示してきた。今回の改訂では、「見方・考え方」は資質・能力を育成する過程で働く、物事を捉える視点や考え方として全教科等を通して整理されたことを踏まえて示すようにする。

○ 標準授業時数

第1学年—105 単位時間 第2学年—140 単位時間 第3学年—140 単位時間

様式 3

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	理科・002-72 理科・002-82 理科・002-92	新編 新しい科学1 新編 新しい科学2 新編 新しい科学3
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 第1分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。 第1学年～・力の大きさとばねののびの関係を調べる実験などを通して、ばねを引く力とばねののびの関係性や物体に力が働くとその物体が変形することを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、力の働きの規則性を見いだして表現する活動 ・水にとけた物質を取り出す実験などを通して、水溶液から溶質を取り出す実験の結果を溶解度と関連付けて理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する活動 第2学年～・電圧と電流の関係を調べる実験などを通して、抵抗器に加わる電圧と電流の関係を理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、電流と電圧の規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・鉄を燃やしたときの変化を調べる実験などを通して、酸化は、物質が酸素と結びつく反応であることを理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、化学変化における物質の変化を見いだして表現する活動 第3学年～・浮力の大きさに関係する実験などを通して、水中で圧力が働くことや物体に働く浮力や水圧の定性的な関係を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、浮力の規則性を見いだして表現する活動 ・塩化銅水溶液を電気分解する実験などを通して、電解質の水溶液内に電流が流れると、電極付近では電気を帯びた粒子が電極に引かれることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験などを行い、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・素材となる物質の性質を調べる実験などを通して、日常生活や社会では、様々な物質が幅広く利用されていることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する活動			
	○ 第2分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。 第1学年～・さまざまな生物を分類する実習などを通して、比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、身近な生物についての観察、実験などを行い、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する活動 ・大地の歴史を調べるための身近な地層の観察などを通して、土地の成り立ちや広がり、構成物などを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、地層の重なり方や広がり方の規則性を見いだして表現する活動 第2学年～・吸水と蒸散の関係を調べる実験などを通して、植物の体のつくりと蒸散の働きに関する実験の結果を関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、植物の体のつくりと働きについての関係性を見いだして表現する活動 ・気圧の低いところで起こる変化を調べる実験などを通して、霧や雲のでき方を気圧、気温及び湿度の変化と関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、天気の変化についての関係性を見いだして表現する活動 第3学年～・遺伝子の組合せを調べる実習などを通して、交配実験の結果などに基づいて、親の形質が子に伝わる時の規則性を理解するとともに、生命の連続性について観察、実験を行い、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・金星の満ち欠けについてモデルを使用した実習などを通して、シミュレーション資料などを基に、太陽と金星と地球の位置の変化と見え方を関連付けて理解するとともに、天体の観察、実験を行い、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する活動			

	・ 土壌動物を指標にした自然環境の状態の調査などを通して、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「身のまわりの物質」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、有機物と無機物について調べ、見分けにくい粉末状の物質の見分け方について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「生物のからだのつくりとはたらき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、蒸散の仕組みについて調べ、植物が蒸散を行う利点について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「地球と私たちの未来のために」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、プラスチックの性質について調べ、生活で削減できるプラスチック製品について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「身のまわりの物質」において、身の回りの気体の性質についての学習の後に、身のまわりの物質から発生する気体の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 「電気の世界」において、モーターの仕組みについての学習の後に、リニアモーターをつくる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 「地球と宇宙」において、太陽と星の1日の動きについての学習の後に、地球の公転と見える星座の関係をモデルをつくって調べる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 各節の導入において、生徒の主体性を高める問いかけ「問題発見 レッツ スタート！」を設定したり、単元末において、学習内容と日常生活の関連を図るコラムを掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に探究の流れについて説明するページを設けたり、探究の流れを見通せるよう各節の探究の流れをフローチャートで示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やデザインに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	4・大日本	第1学年 第2学年 第3学年	理科・702 理科・802 理科・902	理科の世界1 理科の世界2 理科の世界3
取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○ 第1分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。 第1学年～・凸レンズによる像のでき方を調べる実験などを通して、物体の位置と像の大きさ、像の向きの規則性や関係性を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、凸レンズによる像のでき方の規則性を見いだして表現する活動 ・酸素や二酸化炭素などの身のまわりの気体の性質を調べる実験などを通して、気体を発生させる方法や気体の種類による特性を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する活動 第2学年～・電流と電圧の関係を調べる実験などを通して、電熱線に加えた電圧を変えたときの電流の大きさの規則性を理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、電流と電圧の規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・化学変化の前後での質量の変化を調べる実験などを通して、化学変化前後の質量の総和が等しいことを理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、化学変化における物質の量的な関係を見いだして表現する活動 第3学年～・力を受けていないときの物体の運動を調べる実験などを通して、運動の向きに力を受けていない物体の運動は等速直線運動をすることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物体の運動の規則性を見いだして表現する活動 ・塩酸と水酸化ナトリウム水溶液を混ぜる実験などを通して、酸とアルカリの水溶液を混ぜると水と塩ができることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験などを行い、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・化石燃料の利用と課題についての調査などを通して、日常生活や社会では、様々なエネルギーの変換を利用していることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 第2分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。 第1学年～・植物の葉や根のつくりの観察などを通して、共通点や相違点があることを見いだして、植物の体の基本的なつくりを理解するとともに、身近な生物についての観察、実験などを行い、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだして表現する活動 ・地震による地面の揺れの広がり方を調べる実習などを通して、地球内部の働きと関連付けて地震の原因を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、地震の揺れの大きさや伝わり方の規則性を見いだして表現する活動 第2学年～・唾液のはたらきを調べる実験などを通して、食物に含まれる養分を消化する仕組みと実験の結果を関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、動物の体のつくりと働きについての関係性を見いだして表現する活動 ・雲のでき方を調べる観察などを通して、雲のでき方を気圧、気温及び湿度の変化と関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、天気の変化についての規則性を見いだして表現する活動 第3学年～・タマネギの根の細胞分裂の観察などを通して、体細胞分裂の順序性を見だし、細胞の分裂と生物の成長を関連付けて理解するとともに、生命の連続性について観察、実験を行い、生物の成長と殖え方の特徴と規則性を見いだして表現する活動			

	・太陽の1日の動きを調べる観察などを通して、観察記録を基に、天体の日周運動を地球の自転と関連付けて理解するとともに、天体の観察、実験を行い、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・市街地や雑木林で野鳥の種類や個体数を調べる調査などを通して、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験を行い、自然環境の保全の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「生物の世界」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生物について調べ、生物を分類するための観点について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「気象の仕組みと天気の変化」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、気圧について調べ、机に張りついた吸盤を押しつけている力について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「運動とエネルギー」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、振り子の運動について調べ、位置エネルギーと運動エネルギーの変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「身近な物理現象」において、光の反射についての学習の後に、鏡に映る像の位置を調べる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 「化学変化と原子・分子」において、炭酸水素ナトリウムの熱分解についての学習の後に、カルメ焼きをつくる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 「自然界のつながり」において、微生物による物質の分解についての学習の後に、池の水の中の微生物のはたらきを調べる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 単元や章の導入において、学習内容や日常生活に関係のある写真を掲載したり、章末において、科学の歴史や最新の科学的知見などの読み物資料を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に理科の学習の進め方や巻末に探究の進め方について説明するページ(第1学年)を設けたり、探究の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やレイアウトについて配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、WEBマーク(二次元コード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		11・学図	第1学年 第2学年 第3学年	理科・011-72 理科・011-82 理科・011-92	中学校 科学1 中学校 科学2 中学校 科学3
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等〕	○ 第1分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。 第1学年～・光が物体を通るときに進み方を調べる実験などを通して、光が水やガラスなどの物質の境界面で屈折するときの規則性を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、光の屈折の規則性を見いだして表現する活動 ・状態変化と体積、質量の変化を調べる実験などを通して、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、状態変化における規則性を見いだして表現する活動 第2学年～・コイルと磁石の関係を調べる実験などを通して、コイルや磁石を動かすことにより、電流が得られることを理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・水に電流を流したときの変化を調べる実験などを通して、分解して生成した物質は元の物質とは異なることを理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、化学変化における物質の変化の関係を見いだして表現する活動 第3学年～・物体に力がはたらかないときの運動を調べる実験などを通して、物体が受けている力の合力が0のときの運動は慣性のため、静止または等速直線運動をすることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物体の運動の規則性を見いだして表現する活動 ・ダニエル電池の原理を調べる実験などを通して、電池の基本的な仕組みや化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験などを行い、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・身のまわりの素材や技術を調べることなどを通して、科学技術が人間の生活を豊かで便利にしていることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する活動				
	○ 第2分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。 第1学年～・花のつくりを調べる観察などを通して、いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、観察記録などに基づいて、植物の体の基本的なつくりを理解するとともに、身近な生物についての観察、実験などを行い、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する活動 ・火成岩のつくりを調べる観察などを通して、成因と関連付けて火山岩と深成岩の組織の違いを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性を見いだして表現する活動 第2学年～・デンプンのできる場所を調べる実験などを通して、植物の体のつくりと光合成を関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、植物の体のつくりと働きについての関係性を見いだして表現する活動 ・空気を冷やして露点を求める実験などを通して、気温と飽和水蒸気量及び湿度の変化と関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、天気の変化についての関係性を見いだして表現する活動 第3学年～・被子植物の受精の方法を調べる観察などを通して、親の形質が子に伝わることや有性生殖と無性生殖の特徴を理解するとともに、生命の連続性について観察、実験を行い、生物の成長と殖え方の特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・1日の星の動きと観測者の関係を調べる観察などを通して、天体の日周運動を地球の自転と関連付けて理解するとともに、天体の観察、実験を行い、				

	天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・身のまわりの自然環境の調査などを通して、すべての国が協力して持続可能な社会をつくっていくことの必要性を理解するとともに、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験を行い、自然環境の保全の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「身のまわりの物質」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、物質の分類について調べ、身のまわりのものの分類について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「化学変化と原子・分子」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、物質の成り立ちと化学変化について調べ、物質の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「生物どうしのつながり」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生物の成長・生殖について調べ、生物がどのように殖え、成長するのかについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「身のまわりの物質」において、物質の体積と質量についての学習の後に、物質の浮き沈みについての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 「天気とその変化」において、前線の通過と天気の変化についての学習の後に、前線が通過したときの気温・風・天気の変化についての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 「運動とエネルギー」において、作用・反作用についての学習の後に、「作用・反作用」と「2力のつり合い」の違いについての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 単元や章の導入において、学習内容や日常生活に関係のある写真を掲載したり、探究で学んだ内容を活用する場面「探究を深める 理路整然」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元での学習ごとに、科学的探究の例や考察の例を示したり、探究の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、ふりがな・多言語化などについて配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	理科・017-72 理科・017-82 理科・017-92	自然の探究 中学理科1 自然の探究 中学理科2 自然の探究 中学理科3
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、 内容の構成・排列	○ 第1分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。 第1学年～・鏡に反射する光の入射角と反射角の関係を調べる実験などを通して、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射するときの規則性を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、光の反射の規則性を見いだして表現する活動 ・白い物質の性質を調べる実験などを通して、物質には加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する活動 第2学年～・電圧と電流の関係を調べる実験などを通して、電熱線に加える電圧と回路を流れる電流の大きさの規則性を理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、電流と電圧の規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・銅粉の質量と結び付く酸素の質量との関係を調べる実験などを通して、反応する物質の質量の間には一定の関係があることを理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、化学変化における物質の量的な関係を見いだして表現する活動 第3学年～・力の大きさと速さの変化との関係を調べる実験などを通して、力が働く運動では運動の向きや時間の経過に伴って物体の速さが変わること理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物体の運動の規則性を見いだして表現する活動 ・金属のイオンへのなりやすさを調べる実験などを通して、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験などを行い、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・プラスチックの性質を調べる実験などを通して、日常生活や社会では、様々な物質が幅広く利用されていることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する活動				
	○ 第2分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。 第1学年～・観点や基準を決めて生物を分類する実習などを通して、いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、身近な生物についての観察、実験などを行い、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する活動 ・堆積岩のつくりを調べる観察などを通して、地層の様子や構成物などから地層の重なり方や広がり方についての規則性を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、地層の重なり方や広がり方の規則性を見いだして表現する活動 第2学年～・光合成に必要な物質を調べる実験などを通して、光合成の働きによる二酸化炭素の増減と石灰水やBTB液の色の変化を関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、植物の体のつくりと働きについての関係性を見いだして表現する活動 ・空気中の水蒸気が結露する温度を調べる実験などを通して、霧や雲のでき方を気温及び湿度の変化と関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、天気の変化についての関係性を見いだして表現する活動 第3学年～・遺伝子の伝わり方を調べる実習などを通して、交配実験の結果などに基づいて、親の形質が子に伝わる時の規則性を理解するとともに、生命の連続性について観察、実験を行い、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現する活動				

	- 金星の位置と形の変化を調べる観察などを通して、金星の観測資料などを基に、太陽、金星、地球の位置の変化と見え方を関連付けて理解するとともに、天体の観察、実験を行い、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する活動 - 大気や水、土壌など身近な自然環境の調査などを通して、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験を行い、自然環境の保全の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「光・音・力」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音を伝えるものについて調べ、音が何によって伝えられているかについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「化学変化と原子・分子」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、試験管に残った物質の性質について調べ、酸化銀の加熱による変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「生命の連続性」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、タマネギの根の成長の様子について調べ、根の先端に近い部分の細胞の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「大地の成り立ちと変化」において、火山の噴火や地震についての学習の後に、ハザードマップを基に火山の噴火や地震から身を守る学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 「電気の世界」において、電気回路についての学習の後に、発光ダイオードの点灯の仕組みにかかわる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 「生命の連続性」において、遺伝の規則性についての学習の後に、染色体とDNAについての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 単元において、生徒が主体的に疑問を見つける活動「やってみよう」を設定したり、単元末において、理科の学習と日常生活の関連を紹介する科学読み物「ハローサイエンス」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 探究の進め方について説明するページを参照できるようにしたり、探究の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やレイアウトに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	61・啓林館	第1学年	理科・061-72	未来へひろがるサイエンス1
		第2学年	理科・061-82	未来へひろがるサイエンス2
		第3学年	理科・061-92	未来へひろがるサイエンス3
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、 内容の構成・排列	○ 第1分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。 第1学年～・力の大きさとばねののびの関係を調べる実験などを通して、ばねに加わる力の大きさとばねののびの関係や物体に力が働くとその物体が変形することを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・謎の物質Xの正体を調べる実験などを通して、物質には加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する活動 第2学年～・回路に流れる電流を調べる実験などを通して、回路の各点を流れる電流についての規則性を理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、直列回路や並列回路における電流の規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・金属と結び付く酸素の質量を調べる実験などを通して、反応する物質の質量の間には一定の関係があることを理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、化学変化における物質の量的な関係を見いだして表現する活動 第3学年～・斜面上での台車の運動を調べる実験などを通して、力が働く運動では運動の向きや時間の経過に伴って物体の速さが変わることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・うすい塩酸に電流を流すと何ができるかを調べる実験などを通して、電解質の水溶液中では、原子が電気を帯びた粒子になっていることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験などを行い、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・プラスチックの性質を調べる実験などを通して、日常生活や社会では、様々な物質が幅広く利用されていることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 第2分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。 第1学年～・生物の仲間分けの実習などを通して、いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、いろいろな生物を比較して分類できることを理解するとともに、身近な生物についての観察、実験などを行い、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する活動 ・マグマの性質と火山の形の関係を調べる実験などを通して、地下のマグマの性質と火山の形の関連を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性を見いだして表現する活動 第2学年～・唾液のはたらきを調べる実験などを通して、食物に含まれる養分を消化する仕組みと実験の結果を関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・日本付近における低気圧や高気圧の動きと天気の変化を調べることを通して、日本の天気の特徴を気団と関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する活動 第3学年～・遺伝のモデル実験などを通して、親の形質が子に伝わる時の規則性を理解するとともに、生命の連続性について観察、実験を行い、交配実験の結果などに基づいて、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現する活動			

	・金星の見え方の変化を調べる実習などを通して、金星の観測資料などを基に、太陽、金星、地球の位置の変化と見え方を関連付けて理解するとともに、天体の観察、実験を行い、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・地域の自然災害の調査などを通して、地域の自然の特徴や過去の自然災害について調べ、自然と人間との関わり方を理解するとともに、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験を行い、自然環境の保全の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「光・音・力による現象」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、光の反射の様子について調べ、鏡に入射する光と反射する光との関係について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「地球の大気と天気の変化」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、水蒸気が水滴に変わるときの温度について調べ、冷やしたコップの表面変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「化学変化とイオン」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、電池の仕組みについて調べ、ダニエル電池の内部の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「身のまわりの物質」において、溶質の取り出し方についての学習の後に、混合物から純物質を取り出す実験の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 「化学変化と原子・分子」において、金属と結び付く酸素の質量についての学習の後に、酸化銅に含まれる銅と酸素の質量を求める学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 「生命の連続性」において、遺伝の規則性についての学習の後に、顕性形質と遺伝子の伝わり方についての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 単元の導入において、生徒の探究心をゆさぶる写真を掲載したり、単元末において、単元の学びの中で生徒から出た疑問をテーマとして扱う「みんなで探Qクラブ」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 探究の進め方について説明するページを参照できるようにしたり、探究の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やデザインについて配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 4

＜理科の具体的な調査項目＞

◎調査項目

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 各学年の分野のページ数と総ページ数及び割合② SDGs に関する内容を取り上げているページ数③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数 |
|---|

◎調査項目にした理由

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、分野ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。② 自然環境の保全に寄与する態度を養うことや、身の回りの事象から地球規模の環境までを視野に入れて、科学的な根拠に基づいて賢明な意思決定ができるような態度が求められていることから、SDGs との関わりについて把握する必要があるため。③ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等の取り上げ方について把握する必要があるため。 |
|---|

様式 5

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 6 にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者・学年			東書			大日本			学図			教出			啓林館		
			1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
①	各学年 の分野 のペー ジ数と 数	第 1 分野のページ	118	136	144	122	152	163	102	120	104	126	148	150	130	152	164			
		数	45%	43%	44%	41%	48%	44%	39%	39%	34%	43%	47%	43%	43%	47%	46%			
	第 2 分野のページ	第 2 分野のページ	114	142	140	144	145	163	90	112	102	132	132	144	130	136	138			
		数	44%	45%	43%	49%	45%	44%	34%	37%	34%	45%	42%	42%	43%	42%	39%			
	総ペー ジ数及 び割合	第 1 分野と第 2 分	0	0	16	2	2	5	0	0	24	19	21	39	20	16	34			
		野の共通ページ数	0%	0%	5%	1%	1%	1%	0%	0%	8%	7%	7%	11%	7%	5%	10%			
		資料等のページ数	30	36	26	26	19	43	72	72	74	14	14	14	20	20	20			
			11%	12%	8%	9%	6%	11%	27%	24%	24%	5%	4%	4%	7%	6%	5%			
	総ページ数		262	314	326	294	318	374	264	304	304	291	315	347	300	324	356			
	前回の総ページ数		272	322	338	294	318	374	274	290	282	320	338	376	316	332	364			
	増減		-4%	-2%	-4%	0%	0%	0%	-4%	5%	8%	-9%	-7%	-8%	-5%	-2%	-2%			
②	SDGsに関する内容を取り 上げているページ数		2	3	5	5	3	9	17	16	18	7	5	18	7	7	21			
③	北海道とかかわりのある 内容を取り上げている資 料等のページ数		11	2	1	13	1	1	10	0	2	28	6	6	17	8	10			

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

様式 6

様式 5 の調査項目③ [北海道とかかわりのある内容] の具体的な内容

者	学年	内容	単元及び教材名 (該当ページ)	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	第 1 学年	第 1 分野	注意が必要な気体 (P99)	写真	・「二酸化硫黄や硫化水素がふくまれる火山ガス」 (上川郡)
			生物の観察 (P19)	写真	・「図鑑の例 『札幌の昆虫』」
		第 2 分野	火山の姿からわかること (P195)	写真	・「昭和新山」 (北海道)
			火山の噴火によってふき出される物 (P196)	写真	・「阿蘇山から飛んできた火山灰の地層」 (網走市)
			地震に備えるために (P216)	写真	・「北海道胆振東部地震による土砂くずれ」 (勇払郡)
			堆積岩 (P222)	写真	・「泥岩の見られるところ」 (三笠市)
			日本の石灰岩はどこから来たのか (P225)	図	・「日本の石灰岩の分布」 (鹿越、嵯朗)
			地層や化石からわかること (P229)	写真	・「アンモナイト」 (苫前郡)
				写真	・「異なる地域で産出したアンモナイト」 (北海道)
		資料	ジオパークへ行こう! (P248)	写真	・「エンルム岬」 (アポイ岳ジオパーク)
			ジオパークへ行こう! (P249)	写真	・「昭和新山と洞爺湖」 (洞爺湖有珠山 ジオパーク)
				図	・「洞爺湖有珠山、アポイ岳、三笠、十勝岳、白滝、とかち鹿追」
			理科の学習を深めるために (P258)	写真	・「旭川市旭山動物園」 (旭川市)
大 日 本	第 2 学年	第 2 分野	気象現象がもたらすめぐみと災害 (P218)	写真	・「風力発電所のようす」 (苫前町)
		資料	理科の学習を深めるために (P306)	写真	・「札幌市円山動物園」 (札幌市)
	第 3 学年	第 1 分野	カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み (P287)	写真	・「風力発電」 (苫前郡)
	第 1 学年	第 1 分野	火山ガスの正体 (P135)	写真	・「火山ガスの噴出口に硫黄がたまっている火山」 (弟子屈町)
			光の進み方とものの見え方 (P142)	写真	・「太陽から出た光と影」 (美瑛町)
		第 2 分野	地形や地層、岩石の観察 (P198)	写真	・「地上で見られる石炭」 (夕張市)
			火山の活動 (P201)	図	・「日本の活火山 (2019年現在)」 (丸山、大雪山、十勝岳、利尻山、樽前山など31火山)
			昭和新山とミマツダイヤグラム (P207)	写真・文章	・「昭和新山」 (壮瞥町)
				図・文章	・「ミマツダイヤグラム」
			地震の揺れの大きさ (P221)	写真・文章・図	・「平成15年十勝沖地震」
				文章・図	・「平成30年北海道胆振東部地震」
			地震の災害 (P231)	写真	・「平成30年北海道胆振東部地震によって発生した地滑り前後のようす」 (日高幌内川の右岸)
			地層のでき方 (P237)	写真	・「大雨の後、石狩湾に注ぎこむ土

					砂」(札幌市)
			堆積岩と化石 (P246)	写真	・「泥岩」(苫前町)
			堆積岩と化石 (P248)	写真	・「アンモナイトの化石」(北海道)
			堆積岩と化石 (P249)	写真	・「デスモスチルスの化石」(足寄動物化石博物館)
		資料	ジオパークを見学してみよう！ (P280)	図	・「洞爺湖有珠山、アポイ岳、三笠、白滝、とかち鹿追」
				写真・文章	・「洞爺湖有珠山」
				文章	・「アポイ岳」
			生物を見に行こう！(P292)	写真	・「旭川市旭山動物園」(旭川市)
	第2学年	資料	生物を見に行こう！(P301)	図	・「旭川市旭山動物園」(旭川市)
	第3学年	第2分野	自然環境の変化 (P289)	写真・文章	・「釧路湿原」
				文章	・「北海道の釧路湿原でも、土砂の流入などにより湿原は徐々に乾燥化が進んでいる。」
学 図	第1学年	第2分野	脊椎動物 (P36)	写真	・「旭山動物園」(旭川市)
			大地の活動 (P149)	写真	・「昭和新山」(壮瞥町)
			火山 (P152)	写真	・「カルデラの例」(摩周湖)
				写真	・「火山から噴き出す火山ガス」(硫黄山)
			地層 (P162)	写真	・「主に砂岩と凝灰岩からなる地層」(乙部町)
			地層から過去を読みとる (P173)	写真	・「ナウマンゾウ」(幕別町)
			地震のゆれ (P189)	図	・「平成30年北海道胆振東部地震」
			大地の活動による恵みや災害 (P194)	写真	・「地熱により高温になった水を用い、その勢いで発電機を回す地熱発電所」(森町)
			大地の活動による恵みや災害 (P195)	写真	・「地すべり」(厚真町)
		資料	日本の活火山 (P234)	図	・「有珠山」
			昔は見つからないと言われていた (P235)	写真	・「カムイサウルス」(むかわ町)
教 出	第2学年	該当なし			
	第3学年	第2分野	自然界における生物の増減 (P111)	写真 図	・「北海道、東北地方に生息するオジロワシ」
		第1・第2分野共通	持続可能な開発目標 (P233)	写真・文章	・「北海道上士幌町のSDGsの取り組み」
	第1学年	第1分野	注意が必要な身のまわりの気体 (P97)	写真	・「硫化水素」(弟子屈町)
			物質の状態と温度 (P115)	写真	・「川の水面上から蒸発した水蒸気が冷やされて湯気のような様子」(富良野市)
				写真	・「湖の水が凍って盛り上がった氷の様子」(弟子屈町屈斜路湖)
			光の性質 (P206)	写真	・「霧フェスティバル」(釧路市)
			音の性質 (P232)	写真	・「音楽ホールでの演奏」(札幌市)
		第2分野	身近にある地形・地層・岩石を	写真	・「崖」(乙部町)

			観察しよう (P140)	写真	・「川」 (鶴居村)
			身近にある地形・地層・岩石を観察しよう (P141)	写真	・「岩石でできている土地」 (札幌市)
				写真	・「大地に見られる山や川」 (旭川市)
			地層をつくる岩石は語る (P150)	写真	・「チャートの見られるところ」 (占冠村)
				図	・「いろいろな堆積岩」 (占冠村)
			堆積岩ができるまでの時間 (P155)	写真	・「堆積岩の地層」 (乙部町)
			化石は語る (P156)	写真	・「堆積岩の地層とそこから産出したアンモナイトの化石」 (夕張市)
			化石は語る (P157)	写真	・「ホタテガイのなかま」 (沼田町)
			化石は語る (P159)	写真	・「デスモスチルス」 (枝幸町)
				写真	・「アンモナイト」 (三笠市立博物館)
				写真	・「ナウマンゾウ」 (忠類ナウマン象記念館)
			日本で産出する大型化石 (P160)	写真	・「タキカワカイギュウの化石標本と復元模型」 (滝川市美術自然史館)
				文章	・「タキカワカイギュウ」
				写真	・「むかわ竜の化石標本」 (むかわ町立穂別博物館)
				文章	・「むかわ竜」
			日本で産出する大型化石 (P161)	絵・写真	・「ティラノサウルス類の骨格図と発見された化石 (尾椎骨は三笠市立博物館所蔵)」
				文章	・「北海道にティラノサウルス類？」
			マグマの性質と火山 (P164)	写真	・「昭和新山」
			マグマからできる岩石 (P169)	写真	・「マグマが冷えて固まったあと、地表におし出された様子」 (根室市)
				写真	・「安山岩」 (乙部町)
			地震の揺れの伝わり方 (P183)	表	・「北海道東方沖地震、北海道胆振東部地震」
			大地の躍動と恵み (P190)	写真	・「有珠山の噴火」
				写真	・「火山灰に覆われる麓の街の様子」 (洞爺湖町)
			火山が噴火すると？大地震が発生すると？ (P191)	文章	・「2000年3月に有珠山が噴火した。」
			火山が噴火すると？大地震が発生すると？ (P192)	図	・「火山ハザードマップ (有珠山火山防災マップ)」
			火山が噴火すると？大地震が発生すると？ (P193)	図	・「津波避難マップ (釧路市Webハザードマップ)」
			私のレポート (P194)	文章・表・写真	・「2000年に起こった有珠山のふん火」
			大地の変化と人間の豊かな生活 (P196)	写真	・「火山活動によってつくられた山と湖を望む景観」 (足寄町)
			ジオパークと世界自然遺産 (P197)	文章	・「日本では、白神山地、屋久島、知床、小笠原諸島、奄美大島・徳之島・沖縄島北部および西表島が世界自然遺

					産となっています。」
			写真		・「世界ジオパークアポイ岳」(北海道)
		第1・第2分野共通	校外の施設を活用しよう(P266)	写真・文章	・滝川市美術自然史館(滝川市)
			校外の施設を活用しよう(P267)	写真・文章	・「北海道立オホーツク流氷科学センター」(紋別市)
		資料	表紙	写真	・「海岸に打ち上げられた氷」(豊頃町)
			もくじ(P②)	写真	・「美瑛町」
			ジオパークを見てみよう(P⑩)	写真	・「地表に露出した石炭の層」(三笠市)
				文章	・「三笠ジオパーク」(北海道)
				写真	・「昭和新山」(壮瞥町)
				文章	・「洞爺湖有珠山ジオパーク」(北海道)
				写真	・「三笠ジオパークのジオツアー」
	第2学年	第1分野	オーロラ 空を舞う光のカーテン(P283)	写真	・「2003年に日本で観測されたオーロラ」(足寄郡陸別町)
		第2分野	気象の観測(P150)	写真	・「アメダス観測所」(共和町)
			空気中の水の変化(P160)	写真	・「ダイヤモンドダスト」(美瑛町)
				写真	・「朝に発生する雲海」(占冠村)
			低気圧と天気の変化(P174)	図	・「北海道付近の上空を低気圧が通過する様子(気象衛星ひまわりの画像)」
			雨や雪、風と人間の豊かな生活(P200)	写真	・「風力発電」(豊富町)
				写真	・「冬に降った雪の貯蔵」(沼田町)
		第1・第2分野共通	校外の施設を活用しよう(P288)	写真・文章	・「旭川市旭山動物園」(旭川市)
	第3学年	第1分野	化学変化とイオン(P4)	写真	・「オンネトー」(足寄町)
			運動について調べるには(P199)	写真	・「走行中の車」(河西郡更別村)
		第1・第2分野共通	札幌市北区の洪水(P278)	文章・表・写真・図	・「札幌市北区の洪水」
			自然災害と向き合う(P280)	写真	・「津波堆積物」(十勝郡浦幌町)
			生活に欠かせない電気(P285)	写真	・「太陽光発電」(白老郡白老町)
				写真	・「風力発電」(天塩郡幌延町)
			地球温暖化を防ぐ取り組み(P303)	写真・文章	・「再生可能エネルギーの利用」(奥尻島)
啓林館	第1学年	第1分野	物質のすがたの変化(P176)	写真	・「冬にこおった湖の氷が盛り上がっているようす」(塘路湖)
			光が通りぬけるときのようす(P212)	写真	・「虹」(鹿追町)
		第2分野	植物の特徴と分類(P20)	写真	・「花畑」(中富良野町)
			植物の分類(P33)	写真	・「イチョウ」(札幌市)
			動物の体のつくりと生活(P37)	写真	・「シマフクロウ」(北海道)
			身近な大地の変化(P66)	写真	・「盛り上がった大地」(壮瞥町)
			わたしたちと「むかわ竜」との対面(P69)	絵・文章	・「むかわ竜(想像図)」
				写真・文章	・「むかわ竜の化石」(むかわ町)

		地域の大地の観察 (P71)	写真	・「露頭の観察」 (安平町)
		日本列島の地震 (P82)	図	・「北海道胆振東部地震、北海道南西沖地震」
		火山の噴火 (P86)	図	・「有珠山・昭和新山、十勝岳、駒ヶ岳」
		マグマの性質と火山 (P93)	写真	・「昭和新山」 (壮瞥町)
		地球の深くに眠る火成岩をとり出す (P98)	写真	・「カンラン岩が分布する日高山脈」 (様似町)
		地層・化石と大地の変化 (P110)	写真	・「アンモナイト」 (三笠市立博物館)
		地層・化石と大地の変化 (P111)	写真	・「デスモスチルス」 (足寄動物化石博物館)
			写真	・「マンモス」 (札幌市 北海道大学総合博物館)
		大地の恵みと災害 (P114)	写真	・「火山灰の土壌と栽培」 (長沼町)
			写真	・「火山ガス」 (弟子屈町)
		大地の恵みと災害 (P115)	写真	・「地震による地すべりなど」 (厚真町)
			写真	・「川がつくる平野」 (石狩市)
		大地の恵みと災害 (P116)	図	・「樽前山の噴火に備えたハザードマップ」 (苫小牧市)
第2学年	第1分野	化学変化と熱の出入り (P186)	写真	・「ろうそくの燃焼による明かり」 (小樽市)
		発電機のしくみ (P270)	写真	・「発電用タービン」 (厚真町)
	第2分野	植物とわたしたちを支える細胞壁 (P67)	写真	・「ログハウス」 (富良野市)
		大気のようにすを観測する (P74)	写真	・「アメダス観測所」 (えりも町)
		雲のでき方 (P84)	写真	・「羊蹄山」 (北海道)
		天気の変化がもたらす恵みと災害 (P120)	写真	・「スキー」 (新得町)
			写真	・「雪の貯蔵」 (札幌市モエレ沼公園)
	資料	SDGs目標達成への取り組み (P13)	写真	・「雪を貯蔵庫に入れるようす」 (美唄市)
			文章	・「雪を使った冷房システム」 (美唄市)
裏表紙	写真	・「シマエナガ」 (旭川市)		
第3学年	第1分野	酸性・アルカリ性の強さ (P150)	写真	・「定山溪温泉」 (札幌市)
		再生可能エネルギーの活用を支える (P169)	写真	・「風力発電機」 (小樽市)
		斜面上の物体の運動 (P196)	写真	・「スキー」 (新得町)
		生活を支えるエネルギー (P229)	写真	・「風力発電」 (寿都町)
	第2分野	太陽 (P53)	写真	・「日本で見られたオーロラ」 (陸別町)
		生態系における生物の数量的関係 (P251)	写真	・「樹皮を食べるエゾシカ」
	第1・第2分野共通	現在のくらしとこれからの科学技術 (P274)	写真	・「二酸化炭素を排出ガスから分離・回収して圧入する実験設備」 (苫小牧市)
		自然が人間の生活におよぼす影響 (P283)	写真	・「地震のゆれによる液状化」 (札幌市)

		サイエンス資料③STEAM探究 (P312)	写真	・「車体を制作しているようす」(旭川農業高校)
	資料	SDGs目標達成への取り組み (P⑬)	写真	・「ボイラーの熱は、キノコを栽培するハウスの加温などに使われる」(北広島市)
			文章	・「プラスチックを燃料として活用する」(北広島市)